

住まいの未来

Information 10月



◆高齢者施設の選び方

ひと言に「高齢者施設」といっても、サービスや設備はそれぞれ異なる。失敗しない施設選びについて考えよう。

見学時の印象を大切に

高齢者施設には、部屋が広い、設備が充実しているなど、暮らしのクオリティを重視した「ホテル型」、24時間看護師が常駐している、見守りがしやすいなど、サポー

トやサービスが充実している「病院型」、これらがミックスされた「混合型」の3種類があります。実際には「混合型」がほとんどですが、設備の充実度、ケアの手厚さなどによって料



ホームあしすと入居相談室 代表

樋口国陽さん

ひぐち・くにきよ/長年にわたって数多くの相談者に最適な介護施設を紹介してきた、介護施設選びのエキスパート。自治体や企業向けの講演会も数多く行う。

金が異なるので、入居先を選ぶ際には頭を悩ませることが多いでしょう。

実際、相談に来る人も最初は条件が絞り込めないことが多く、話を進めるうちに

自分が求めている条件に気づくことがほとんどです。考えがまとまらないときは、施設選びのチェックポイントを書き出した表をつくり、優先したい項目を家族で精査しましょう。

条件が整ったなら、1日に3〜4カ所の施設を見学しましょう。これは、1日に複数の施設を訪れることで、どの施設が好印象だったかが明らかになるからです。このとき「風呂は個別か、大浴場か」「介護スタッフのほかに、清掃スタッフはいるか」「入居者にあいさつしたときどのような反応が返ってくるか」などを確認し、総合的な印象で合う、合わないを判断しましょう。なお、独力で施設を探す場合、最低でも7〜8カ所程度は見学することをおすすめします。

入居時とその後にかかるお金のことを考えよう

高齢者施設に入居するにあたり、心配なのはやはりお金の問題です。自宅・有価証券などの売却益、預貯金、退職金、年金などの資産をしっかりと把握し、入居一時金など当面必要なお金、先々の月単位の生活費、葬儀や病気などの突然の出費を考えて、無理なく計画を立てましょう。

今は「人生100年時代」といわれますから、シミュレーションするならば100歳を目安にすることをすすめています。より具体的な計画を立てたいときは厚生労働省が毎年発表している「簡易生命表の概況」の「主な年齢の平均余命」が役立ちます。75歳女性の場合、2017年のデータを

施設選びのチェックポイント(例)

- 家族との距離は?
- 最寄り駅までの所要時間は?
- 都市部へのアクセスは?
- 周辺に公園はあるか?
- 周囲は平らな立地か?
- 介護サービスの手厚さは?
- 認知症への対応は?
- 居室の広さ・きれいさは?
- 共用設備の充実度は?
- 医療体制は万全か?

見てみると平均余命は15・79年です。すから、少なくとも15年以上は見えていた方がよいということになります。

どんな施設も万人にとって100点ということはありませんが、自分にとって90点の施設を見つければそう難しくはないと思います。条件をきちんと整理し、実際の施設を自分の目で確かめ、よりよい入居先を選びましょう。(談)